



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1071 2017 年 4 月 17 日

ARIBの動き

エルサルバドル コト電気通信監督庁長官との意見交換会に参加

総務省においてエルサルバドル コト電気通信監督庁長官との意見交換会が開催されました。

- 1 日程：2017 年 3 月 27 日（月）
- 2 場所：総務省会議室
- 3 出席者：
（エルサルバドル側）
電気通信監督庁 コト長官、在日本エルサルバドル大使館 セラヤンディア大使 他
（日本側）
総務省 高木情報通信戦略局次長、菱沼国際経済課長 他
ARIB/DiBEG 菅原議長、丸山アドバイザー 他



意見交換会の模様

- 4 概要：
エルサルバドル共和国は本年 1 月に地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）の採用を表明し、ISDB-T の採用国は日本を含め 19 か国となっています。今般、同国で放送サービスを所管する電気通信監督庁のコト長官を総務省が招聘し、ISDB-T の導入に当たって検討が必

要な事項等について情報提供するとともに意見交換を行うこととなり、ARIB/DiBEG も菅原議長をはじめとしたメンバー及び事務局の 4 名がこれに参加しました。

意見交換会では、総務省より地デジ導入に当たって検討が必要な事項、日本における経験等について説明を行いました。また、菅原議長より、ARIB/DiBEG の国際普及活動について説明を行いました。

これに対してコト長官より、日本からの情報提供に対する謝辞や今後の支援に対する期待等が述べられました。また、ISDB-T の技術や特徴等について質疑応答が行われました。



意見交換会の出席者一同（前列左から 3 人目がコト長官）

コスタリカ 中米地デジフォーラムに参加

コスタリカにおいて中米地デジフォーラムが開催されました。

- 1 日程：2017 年 3 月 30 日（木）～31 日（金）
- 2 場所：コスタリカ共和国サンホセ 文化省
- 3 出席者：

コスタリカ科学技術通信省（MICITT）はじめ同国政府関係者、国营放送（SINART）はじめ同国放送関係者、中米各国の放送事業者等、延べ約 300 名が参加。

日本からは、総務省 柴田放送技術課課長補佐、長尾国際経済課課長補佐、在コスタリカ日本国大使館 木村臨時代理大使、JICA コスタリカ支所 半谷所長、堀川地デジ専門家 他、NHK アイテック 阪口氏（DiBEG として参加）、日立国際リネアール 三好氏、ARIB 事務局 3 名が参加。

- 4 概要：

コスタリカ共和国は中米で最も早い 2010 年 5 月に地上デジタル放送日本方式 (ISDB-T) の採用を決定し、2014 年 5 月から放送を開始しています。また、2016 年 11 月からは JICA の堀川地デジ専門家が同国に派遣されています。

今般、同国の国営放送（SINART）、科学技術通信省（MICITT）等の主催により、中米諸国等の地上デジタル放送に関する情報交換等を目的とした「中米地デジフォーラム」が開催されました。ARIB/DiBEG は、同国及び中米地域における ISDB-T の普及を支援するため、講師の派遣及びブースへの出展を行いました。

フォーラムでは、パネルディスカッション、セミナー形式のワークショップ、展示が行われ、パネルディスカッションの様子はテレビ中継も行われました。また、ワークショップでは、総務省の柴田課長補佐及び堀川専門家に加え、阪口氏、三好氏、ARIB 事務局が、中南米のデジタル化状況、ISDB-T の技術等について講演を行いました。このほか、ARIB/DiBEG のブースでは、緊急警報放送（EWBS）に関するデモンストレーション等を実施しました。

講演や展示では、参加者から多くの質問が寄せられ、同国における地上デジタル放送への関心の高さをうかがい知ることができました。



パネルディスカッションのテレビ中継画面（左：堀川専門家、右：阪口氏）



ワークショップで講演する柴田課長補佐



ARIB/DiBEG の展示ブース

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ 第 21 回会合（AWG-21）に参加

1 アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ(AWG)の概要

AWG（Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group）は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システム

に関する周波数の調和や標準化等について検討を行う会合です。同地域各国の無線技術の専門家が参加し、通常年 2 回程度開催されており、当会の佐藤参与が本会合の全体議長を務めています。

2 第 21 回会合 (AWG-21) の概要

日程 : 2017 年 4 月 3 日～7 日

場所 : Centara Grand at Central World (タイ バンコク)

参加者 : アジア・太平洋地域の主管庁・民間組織・国際機関等から約 240 名が参加。

日本代表团として、総務省 網野国際周波数政策室課長補佐を団長に 49 名が参加。電波産業会からは、佐藤参与、他 2 名が参加。

3 AWG-21 の主要結果

本グループは、周波数、技術、サービス・アプリケーションの 3 つのワーキンググループ (WG) を設置しており、各 WG において課題毎にサブ WG 及びタスクグループを設置して審議を行いました。

本会合での主な内容は以下のとおりですが、2019 年の世界無線通信会議 (WRC-19) に向けた技術調査や技術基礎検討の成果や進捗状況の ITU-R の関連 Working Party への発信及び今年の 7 月に開催される第 2 回 APG 会合 (APG: APT Conference Preparatory Group for WRC-19 ; APT WRC-19 準備会合) への対応が主眼となりました。

(1) IMT (第 5 世代移動通信システム等)

WRC-19 議題 1.13 である 24.25-86 GHz 帯に関する各国の利用状況調査の APT レポートの作業文書に関して、今会合での入力寄書を反映しました。本レポートは今会合で完成予定としていましたが、2018 年開催予定の第 3 回 APG 会合に向け内容の充実を図ることとし、期限を延長し更なる情報の更新を求める回章を送付することとしました。また、WRC-15 にて 6 GHz 以下で IMT に特定された帯域に関する周波数アレンジメント、共用の検討、作業文書の作成を行いました。1427-1518 MHz の周波数アレンジメント検討に関しては我が国の入力に基づき、作業文書を更新するとともに同帯域の利用状況の各国の利用調査のための回章を作成、送付することとしました。

(2) 高度道路交通システム (ITS)

各国の ITS 導入、利用状況を取りまとめた APT レポートに関して、我が国等からの提案に基づき、改定案を更新しました。本レポート改定案は WP5A にリエゾンを送付することとし、WP5A で作成中の ITU-R Report M. [ITS USAGE] において APT に関するテキストとして反映され、WRC-19 議題 1.12 (ITS アプリケーションのための世界的な周波数の調和) へ参照される予定です。

(3) 鉄道無線システム

WRC-19 議題 1.11 である列車／線路側設備間の通信 (RSTT: Railway radiocommunication System between Train and Trackside) に関する新 APT レポートの作業文書に関して我が国等からの提案に基づき更新しました。本作業文書は第 22 回会合にて完成させる計画です。また、我が国の提案に基づき、次回 AWG-22 にて RSTT のワークショップを開催することで合意しました。

(4) ワイヤレス給電システム (WPT)

電化製品や自動車等における WPT のサービス並びにアプリケーションの動向を取りまとめた新 APT レポートを完成させました。また、電気自動車の給電のための Non-BEAM

WPT の周波数の検討に関して、作業文書を更新しました。本作業文書は第 22 回会合にて完成させる計画です。

また、AWG の作業内容に関わる事項として、ITU-R や APG との連携方法に関する寄書が韓国より入力され、プレナリーの配下に設置した Ad Hoc グループで議論した結果、AWG として今まで通り ITU-R に対して必要な検討・入力は継続しつつ、WRC-19 の審議に直接関わる項目（APT の共同見解に関わる案件を含む）は APG からの要望に応じて技術や運用に関する事項のサポートを行う整理としました。

4 次回会合のスケジュール：

次回 AWG-22 会合は、2017 年 9 月 25～29 日に韓国・釜山で開催予定です。



開会挨拶する佐藤参与（右）



会合の様子

第 149 回電波利用懇話会を開催 ARIB、TTC 共催「MWC-17 に見るグローバル動向」

4 月 13 日（木）に、第 149 回電波利用懇話会を一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)会議室にて開催しました。

今回は、TTC との共催により、XGP フォーラムの入部様、株式会社 NTT ドコモの田村様、日本電気株式会社の久木田様を講師にお迎えして「MWC-17 に見るグローバル動向」と題してご講演いただきました。

ご講演では 2017 年 2 月 27 日から 3 月 2 日にスペイン・バルセロナで開催された世界最大級のモバイル関連イベントであるモバイル・ワールド・コンGRESS(MWC)で紹介された注目すべきテクノロジー、製品・サービス・アプリケーションの動向や展示内容について分かりやすくご紹介いただきました。

当日は、110 名を超える会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、第 5 世代移動通信システム(5G)の標準化スケジュール、サービスの方向性及び今後開催される MWC の動向などについて活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料につきましては、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html> において公開予定です。



第 149 回電波利用懇話会の様子



XGP フォーラム
入部 良也様



(株)NTT ドコモ
田村 基様



日本電気(株)
久木田 信哉様



開会挨拶
ARIB 松井専務理事



閉会挨拶
TTC 前田専務理事

第 62 回前島密賞贈呈式が開催される

4 月 13 日、公益財団法人通信文化協会の主催で第 62 回前島密賞贈呈式が、東京大手町の KKR ホテル東京で開催されました。前島密賞は情報通信・放送に関するサービス提供、研究開発、文化の新興・発展に関して特段の功績があった方々に授与される伝統ある賞です。今回

15 件、31 名及び 1 団体に前島密賞が贈呈されましたが、このうち当会の推薦により、富士通 80GHz 帯高速無線伝送システム開発グループが団体として、80GHz 帯に E-band インパルス方式を適用し、光ファイバケーブルの設置が困難な箇所の無線化などを可能とするシステムの開発への貢献を評価され受賞に至りました。同グループは単一の無線システムで光ファイバ並の低遅延ギャランティ型伝送を可能とするとともに、回路構成をシンプルにすることにより、小型（3L、3kg）、低消費電力（30W）、高回線品質を実現されました。この技術開発により、複数の無線送受信装置を必要とする大規模な従来システムから 1 台の小型無線送受信装置で数 Gbps が伝送可能で設置が容易なシステムになりました。なお、同グループは 2013 年に第 24 回電波功績賞の電波産業会会長賞を「80GHz 帯高速無線伝送システムの開発・実用化」で受賞しております。



贈呈式の様子

第 26 回調査統計小委員会幹事会を開催

第 26 回調査統計小委員会幹事会を開催しました。

- 1 日時：平成 29 年 4 月 12 日（水） 午後 1 時 30 分から 2 時 55 分まで
- 2 場所：当会第 6 会議室
- 3 議題
 - (1) 「電波産業年鑑 2017」第 1 章トピックスのテーマ選定について
 - (2) 執筆者の選定について
 - (3) その他

第 238 回業務委員会を開催

第 238 回業務委員会を開催しました。

- 1 日時：平成 29 年 4 月 12 日（水） 午後 3 時 30 分から 5 時 00 分まで
- 2 場所：当会第 4 会議室

3 議題

- (1) 第 103 回規格会議の結果について
- (2) 日ニカラグア共同作業部会(第 2 回)の結果について
- (3) コスタリカ中米地デジフォーラムの結果について
- (4) 平成 28 年度照会相談業務連絡会の開催状況について
- (5) 標準規格等非会員有償化のダウンロード実績について
- (6) 第 7 回定時総会等の予定について
- (7) 電波の日記念講演会の開催について
- (8) その他

今週の ARIB 内会合 (4 月 17 日～4 月 21 日)

- 4 月 17 日 (月) : 高度無線通信研究会 運営委員会及び総会
4 月 18 日 (火) : スタジオ設備開発部会 デジタル字幕制作検討作業班
4 月 20 日 (木) : 電磁環境委員会 第 17 回委託研究WG
4 月 21 日 (金) : 電磁環境委員会 第 61 回調査研究部会

今週の国際会合 (4 月 17 日～4 月 21 日)

参加を予定している会合はありません。

会員からのお知らせ

一般財団法人電波技術協会は、平成 29 年度情報通信月間参加行事として、「第 28 回電波技術協会セミナー」を下記の内容にて開催いたします。

<記>

テーマ : 「電波が創る明日の日本」

- 1 開催日時 :
平成 29 年 5 月 17 日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分 (13 時開場)
- 2 開催場所 :
千代田放送会館 東京都千代田区紀尾井町 1-1
- 3 講演者 :
講演Ⅰ 総務省大臣官房審議官 (情報流通行政担当) 吉田 真人 様
講演Ⅱ 株式会社 KDDI 総合研究所 代表取締役会長 渡辺 文夫 様
- 4 参加費 : 無 料
- 5 申込方法 :

本セミナーに参加ご希望の方は、以下のページを参照の上お申し込みください。

詳細 URL : <https://reea.or.jp/information/1214/>



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp